

境町歴史民俗資料館だより

# 河岸町の歴史

VOL.16 2022



● 沖縄本土復帰50周年特集

沖縄本土復帰 昭和47年（一九七二）5月15日



## 沖縄県国頭村と境町の交流

境町は、平成30年(二〇一八)4月24日に沖縄県国頭村役場におきまして、「道の駅さかい」と沖縄県国頭村の「道の駅ゆいゆい国頭村」が友好交流協定を締結し、「道の駅さかい」に「沖縄県国頭村公設市場」を開設しました。

「道の駅さかい」の「沖縄県国頭村公設市場」では、やんばる地域や国頭村のイセエビやグルクマ(魚)の加工品など、新鮮な海産物を販売する特設ブースが開設されています。

国頭村は、沖縄本島の最北端に位置するやんばる(山原)地域の村で、3月下旬から4月にかけて日本一早く新茶が収穫できる地域として、ことから、さしま茶を伝統的産業としている境町と共通点があります。

沖縄県北部のやんばる地域には、国頭村、マングローブが生息している慶佐次川の東村、大宜味村の3つの村があり、沖縄本島最高峰の与那覇岳がそびえ、昭和56年(一九八一)に熱帯・亜熱帯地域に生息する絶滅危惧種のヤンバルクイナの捕獲でも知られ、沖縄でも最も自然の多い地域でもあり、令和3年(二〇二二)に世界自然遺産に登録されています。

今年、沖縄本土復帰50周年の節目にあたり、境町と親交を深めてゆく沖縄県の歴史について紹介いたします。



## 奈良〜室町時代の沖縄

12世紀頃、平安時代から鎌倉時代にかけて、沖縄には政治支配者(領主)の按司(あじ)が沖縄の各地にグスク(城)を築き支配者になっていました。鎌倉時代(執権北条時宗の時代)、沖縄は元軍(モンゴル)の襲撃もうけています。

14世紀頃、室町時代には沖縄本島に強大な按司(あじ)が台頭し、沖縄全土に北山・中山・南山の三大勢力圏が形成されました。

また、原始・古代の沖縄には、日本の縄文文化にあたる食物採取文化である沖縄貝塚文化が営まれています。弥生・古墳文化圏は形成されず、遺跡等の痕跡も確認されておりません。

沖縄に関する文献上の所見は、奈良時代の遣唐使について淡海三船が七七九年に著した「唐大和上東征伝」には唐の高僧鑑真が来日の際に暴風のため「阿児奈波」(沖縄のこと)に漂着したことが記されています。

## 琉球王国時代の沖縄

中山王の尚巴志は、北山王国、ついで南山王国を滅ぼして沖縄全土を統一し、永享元年(一四二九)に琉球王国を建国し、首里城を居城としています。

琉球王国の外港である那覇は、重要な国際港となっており、冊封(朝貢)関係の明朝(中国)、日本の室町幕府と国交を開き、活発な海外貿易を展開して、東南アジア諸国間の中継貿易によって、琉球王国は

大いに繁栄しました。

室町時代には栄華を誇った琉球王国も、江戸時代になると徳川幕府の家臣で外様大名の薩摩藩の島津軍に侵略され、慶長14年(一六〇九)に征服されてしまいました。薩摩藩は、琉球に対して検地と刀狩を強行し兵農分離を徹底して農村支配を確立させ通商交易権を掌握しています。

しかし、薩摩藩は、中国との国交では、琉球王国の尚氏を石高8万9000余りの王位に就任させて独立した王国の形をとらせ、清朝との朝貢貿易は継続させています。

また、琉球王国と江戸幕府との従属関係は、琉球王国が慶賀使(将軍代替わりの奉祝)と謝恩使(琉球国王代替わりの感謝)使節を幕府に派遣する形式がとられました。

## 近代の沖縄(明治〜昭和時代)

嘉永6年(一八五三)アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが軍艦4隻を率いて琉球王国時代の沖縄に来島した翌年の安政元年(一八五四)、江戸幕府は日米和親条約を締結し鎖国体制をやめて開国しています。ついで、慶応4年(一八六七)京都二条城で徳川慶喜が大政奉還を行い江戸幕府は滅亡しています。その後、明治天皇を擁した薩摩長州を中心とする新政府軍は、一年半に及び戊辰戦争で旧幕府勢力を打ち破り明治政府を成立させています。

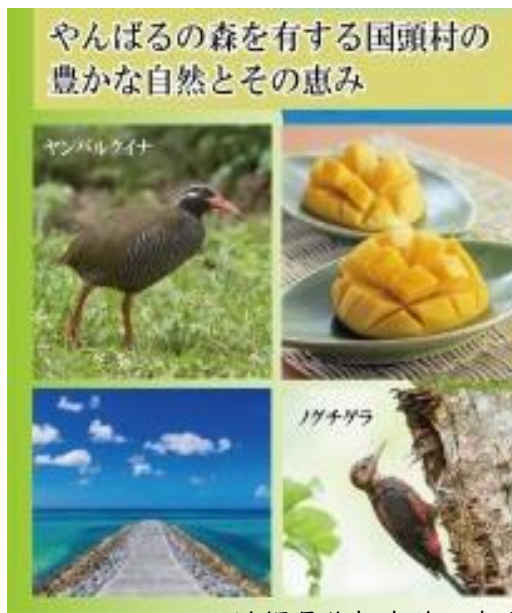
明治政府は、江戸時代以来、事実上、薩摩藩(島津

氏)の支配下にあり、名目上は、清国(中国)を宗主国(冊封関係)朝貢)とする複雑な外交関係にあった琉球王国を廃して日本領に画定するため、明治5年(一八七二)琉球藩を設け、内務省の直轄地とし琉球国王の尚泰を藩王とし、裁判権や警察権を接収しています。

また、明治4年(一八七一)に台湾で起こった琉球漂流民殺害事件を機に琉球漂流民保護の責任問題を追及し、琉球王国の宗主権を主張して日本政府に抗議する清国を屈服させ、明治12年(一八七九)、琉球藩及び琉球王国を廃止し、沖縄県を設置しました。(琉球処分)その後、日清戦争の戦後処理として日本全権の伊藤博文、陸奥宗光と清国全権の李鴻章との間で調印された下関講和条約(一八九五)で日本の沖縄領有が確定しています。

このように、沖縄は、明治28年(一八九五)に日本の領土の一部に組み込まれましたが、土地制度、租税制度、地方制度は琉球王国時代の旧制度が温存され、そこへ明治政府によって徴兵令や地租改正、府県制特例を施行しています。

沖縄県で初めて衆議院議員選挙が実施されたのは大正元年(一九一三)のことでしたが、何といても日本本土との経済格差が大きく、県民所得も低かったことにより、本土への出稼ぎや海外移住などの人口流失が増加しました。



沖縄県北部奇跡の森やんばる (さかいまちづくり公社)

## 太平洋戦争と沖縄戦

太平洋戦争後半の昭和19年(一九四四)に沖縄には第32軍(沖縄守備隊)が新たに設置されています。沖縄本島では、終戦の年の昭和20年(一九四五)3月26日から9月7日の琉球列島守備軍による凄惨な沖縄戦が続き、太平洋戦争最後の大規模な地上戦になりました。



日本の近代史上、最も残酷な歴史となった沖縄戦は、昭和20年（一九四五）6月23日に沖縄における日本軍最高司令部が消滅した（牛島満日本軍司令官自決）後も3ヶ月にわたる壮絶な戦いによって沖縄守備隊は壊滅し、約4万人もの沖縄島民（民間人）が戦渦に巻き込まれて犠牲者となり、約19万人の戦死者を出してしまいました。

こうしたアメリカ軍との沖縄本土における地上戦が終わり、広島・長崎への原爆投下、ポツダム宣言の受諾による無条件降伏によって終戦となり、沖縄はアメリカ合衆国の施政権下に入り、アメリカ政府の直接統治下に置かれました。

ところで、太平洋戦争末期の沖縄戦において、境町出身で海軍及び陸軍兵士として戦闘に参加し戦没者となった方が6名おります。森戸村で4名（陸軍兵3・海軍兵1）、猿島村（海軍兵）と静村（陸軍）から各1名と記されています。（「下総境の生活史・史料編・近現代」より）

境町歴史民俗資料館

## ■沖縄の本土復帰とその後の50年(年表)

- 1969(昭和44) 日米首脳会談（沖縄返還合意）
- 1971(昭和46) 沖縄返還協定調印
- 1972(昭和47) 沖縄本土復帰（5月15日）
- 1973(昭和48) 沖縄特別国体（若草国体）
- 1975(昭和50) 皇太子ご夫妻の沖縄訪問 沖縄国際海洋博覧会
- 1976(昭和51) 具志堅用高 ボクシング・世界ライトフライ級世界王者
- 1978(昭和53) 車道が右側通行から左側通行へ変更される
- 1981(昭和56) ヤンバルクイナ捕獲
- 1992(平成4) 本土復帰20年—首里城正殿復元
- 1996(平成8) 普天間飛行場の返還合意
- 2000(平成12) 九州沖縄サミット開催
- 2001(平成13) NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」放映
- 2002(平成14) 沖縄本土復帰30年  
「沖縄美ら海水族館」リニューアルオープン
- 2010(平成22) 興南高校、全国高校野球選手権大会春・夏連覇
- 2012(平成24) 在日米軍再編見直し 尖閣諸島国有化
- 2019(令和1) 首里城正殿焼失
- 2020(令和2) 那覇空港第二滑走路運用
- 2021(令和3) 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産
- 2022(令和4) 沖縄本土復帰50周年式典（5月15日）  
NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」放映